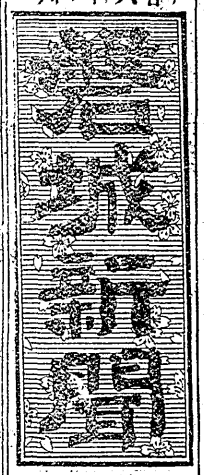
（廿六日夕刊）



休刊 大祭第一、第三日曜
定價〔壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢〕
廣告料〔二行五十錢指定廿錢增〕
發行兼編輯印刷人 福島縣平町田町拾六 遠沼龍輔
發行所 磐城新聞社 電話五六四番

〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕 昭和三年七月二十七日 磐城新聞 金曜日 一部二千三百部 （一）

文藝

彼と三拾圓

創作 北島聰一

（一）

秋田二郎が今の下宿に落付いてから、かれこれ一年半程になる下宿屋を言つても下宿人は彼一人の素人下宿だつた。

たかみさんも娘のお衣さんも應揚で暢氣で坊ちやん嗜のぬけない彼の態度に少なからず厚意を寄せ家族同樣の待遇をしてくれた

可成り富裕な百性の二男坊に生れた彼は學校を出るとこの町の○○會社に勤める樣になつた、月給を貰つても家が裕福なのでよその人の樣に家へ送金するなどゝ言ふ心配はなかつた、然しそうかと言つて別段金も殘らなかつた

それは空のよく晴れた長閑な日曜だつた

硝子越しに強い光線が彼の寢床に迄さしこんでゐた。彼は大きな欠伸をするとむつくり起き上つて階下へ下りて行つた下ではたかみさんが晝の御飯の仕度に餘念がない

「たかみさんお早う」

たかみさんは仕事の手を一寸休めて驚いた樣に

「まあ、秋里さん寢呆けてますよ、ようお晝ですよ」

「あつこれは縮尻つた、道理であんまりよく寢たと思つた」

やがて晝飯の時彼は

「たかみさん、ゆふべそりや素敵な夢を見ましたよ」

娘のお衣ちやんは側から

「まあどんな夢、」

「僕が働いてもねえ勘業債券の五千圓、當籤してネ、その內千圓を殘して四千圓を自動車を買つたんです、そしてたかみさんとお衣ちやんを乘せてネ僕が運轉して東京から熱海、瀧河原、それから箱根へとドライブ夢だつた」

「まあ、それがほんとうだと嬉しいんですがネ、でも目が醒めてからがつかりしたでせう」

「ナーアにがつかりなんかしないよ、人間には何時どれはしかも書留になつてゐんな幸福が廻つて來るか知れないもの、何時かわきつ彼は不思議相に裏を見るとと現實となつて廻つてくる 東京市本鄕區春木町

付いてから、かれこれ一年半程になる下宿屋を言つても下宿人は彼一人の素人下宿だつた。

たかみさんも娘のお衣さんも應揚で暢氣で坊ちやん嗜のぬけない彼の態度に少なからず厚意を寄せ家族同樣の待遇をしてくれた

可成り富裕な百性の二男坊に生れた彼は學校を出るとこの町の○○會社に勤める樣になつた、月給を貰つても家が裕福なのでよその人の樣に家へ送金するなどゝ言ふ心配はなかつた、然しそうかと言つて別段金も殘らなかつた

それは空のよく晴れた長閑な日曜だつた

硝子越しに強い光線が彼の寢床に迄さしこんでゐた。彼は大きな欠伸をするとむつくり起き上つて階下へ下りて行つた下ではたかみさんが晝の御飯の仕度に餘念がない

「たかみさんお早う」

たかみさんは仕事の手を一寸休めて驚いた樣に

「まあ、秋里さん寢呆けてますよ、ようお晝ですよ」

「あつこれは縮尻つた、道理であんまりよく寢たと思つた」

やがて晝飯の時彼は

「たかみさん、ゆふべそりや素敵な夢を見ましたよ」

娘のお衣ちやんは側から

「まあどんな夢、」

「僕が働いてもねえ勘業債券の五千圓、當籤してネ、その內千圓を殘して四千圓を自動車を買つたんです、そしてたかみさんとお衣ちやんを乘せてネ僕が運轉して東京から熱海、瀧河原、それから箱根へとドライブ夢だつた」

「まあ、それがほんとうだと嬉しいんですがネ、でも目が醒めてからがつかりしたでせう」

「ナーアにがつかりなんかしないよ、人間には何時どれはしかも書留になつてゐんな幸福が廻つて來るか知れないもの、何時かわきつ彼は不思議相に裏を見るとと現實となつて廻つてくる 東京市本鄕區春木町

〇〇雜誌社

「あなたわほんとうに暢氣ですネエ、虫のいゝことばかり考へて」

おかみさんは箸をたいて笑つた

「アツハハハ——」

彼も陽氣に笑つた、食事がすむと二階へ上つた、机の前にどつかりあぐらをかいし机の上を見ると今朝達されたらしい一通の手紙、それを見て彼が退屈しのぎに書いた

和歌

吉岡獨歩門下 東谷てる子

小止みなき雨懶げに窓の外の桐の葉越に空仰ぎ見つ

知れる子に傘貸て我は家居まで一丁ばかりひた走り來ぬ

道の邊の地藏の前に小やかなき赤き茶碗に雨溜る見ゆ

去年植ねし桐莖ましく育てるが嬉しと父は歌書きませり

不圖出でゝ俄雨にと逢ひませる父の御許に傘持てゆきぬ

◇次回讀物豫告

新作の幕末秘錄

目下紙上掲載中の講談「闇に閃く男達」は愛讀者各位の白熱的拍手喝采裡に愈々近日中大團圓を告げる事となりましたので本紙は次回讀物の撰擇に多大の苦心を拂ひました結果大衆講談の作家として謳はれる渡邊默禪氏作の幕末秘錄「狂怒亂心」を上載する事と致しました、作者が艶麗な筆致と情緒漂ふが如き興味津々たる本篇に對して大なる期待の裡に引き續き御愛讀を乞ふ

大衆講談 幕末秘錄 狂怒亂心

渡邊默禪作

（梗概）……鎌倉二軒茶屋の外人斬殺、御典醫共謀の將軍家毒殺を始めとして幕末に於ける勤王壞夷の活躍は目覺ましく中にも水戸浪士が國家を思ふの至誠は白熱點に達し萬難を爭ともせず有ゆる危險を冒して志を遂げんとして頻り暗中飛躍を試むる間には其志を壯として戀する美人あり、我子を励ますとして自殺する母あり、後難を恐れず、義擧を助くる義人あり或は貞婦出で幾多の壯烈一して悲慘なるは實は殆んど幕末に於ける一大壯擧なかつた、本篇は未だ是迄世に發けにせられざりし幕末秘錄も史實に研究を要する「鬼梶原」を中心としてこれに德川拔刀隊の背景を結びつけて所謂なき時は女よりも優しく小兒よりも仇氣なき彼鬼梶原は銃音を聞き白刃の光を見ると忽ちにして獅子となりデビルとなり。鳥羽伏見の戰には彼鬼梶原は遺憾なく本色を發揮して阿修羅の如く暴れ廻る太刀風に好敵こざんなれと其物凄きこと渡り合ふ者なかりき然るにこの鬼と畝われ暴れ者と言はるゝ彼には幾多の涙あり情ある情話に滿ち琴唄の戀 棧橋渡らんと……だゆる女は藝者と言はず町娘と言はず色彩多樣にして且つ波瀾萬重所謂幾多の葛藤幾多の波瀾は常に戰場と相俟ちて悲慘の奮鬪を相つゞけ總てがその極に達するや或は發して烈火となり或は滅して夏音となり終いに一念凝つて勤王の及は宿望を遂げ思ひは結ばれて引然無比の最後を彩る感興無限の一大秘錄であります。

闇に閃く男達

講談

（150） 高田涙川作 尾崎雪麿畫

男の中の男

その頃浪人上りの梶原五左工門と云ふを首領とする泥棒の一團があつた二十人ばかりの配下があり江戸中を荒し廻るで役人が殿重な手配すれも神出鬼沒ナカ〳〵網にかゝらぬ金五郎はこの賊を引き捕へた上の御用に立たんとその巢窟を探させし上、龜戸附近の破れ寺にひそみおるを突きとめた、そこで旅人に紛裝し龜戸近邊を探し廻し夕刻龜戸より一里ばかりへだつたところにある淨雲寺と云ふ寺の門前へ來た隨分荒れ果てた寺でおるが何だか怪しく思ひ寺內を覗いてゐた

「アヽモシ〳〵」

年頃二十七八の坊主が言葉をかけた

「ハイ何か御用で御座いますか」

「イヤもう暮れ近くなつてゐるのにどうしてこんな所にゐなさる」

「サア野郎俺達をなんだと思つてやがんだい、この寺は俺達の住家で地獄の一丁目と云つて二丁目のねね〳〵吉運に向ふべし△七赤權謀は事を破る精力に況したることばなし△八白 照りても降りても本業離れず勵めば吉日となる△九紫己の職業に心を寄らにすれば大吉日

◇……明日 舊六月 新七月 二十日

◇……吉の 曆一曆七 日 日

◇……凶

△一白 福分薄く爭の半ばにして躓きを生じ易き日△二黑 心を陽氣に持てば運氣も引き立ち來るべし△三碧 足元の收拾をかへりみず先にのみ走り過ぐる日△四綠 無理をすれば破れを生ず日入事尤も注意△五黃 獨尊主義に流れて敬遠せらるゝ嫌ひある日△六白 不況に沈み居りしも身も追ひ〳〵吉運に向ふべし△七赤權謀は事を破る精力に況したることばなし△八白 照りても降りても本業離れず勵めば吉日となる△九紫己の職業に心を寄らにすれ

へ入つて四邊を見廻はすといかにも盜賊の住みそうな荒れ果てた寺だ、途端に後の破れた唐紙がガタ〳〵左右に開くとどか〳〵とそれへ十人計りのあらくれ男がんでに得物をたづさへて躍り出した一方には頭分らしい奴がこの樣子を眺めてゐる

「サア野郎俺達をなんだと思つてやがんだい、この寺は俺達の住家で地獄の一丁目と云つて二丁目のねね〳〵吉運に向ふべし△七赤權謀は事を破る精力に況したることばなし△八白 照りても降りても本業離れず勵めば吉日となる△九紫己の職業に心を寄らにすれ

「ハイ有難う存じます私は小出原の者で御座います」

「オヽ相州小田原の人か」

「少しばかり主人の掛取りにこの附近まで參りましたが、その尋ねる人はどうも判らず晩がシク〳〵痛み出して困つて居ります」

「それは氣の毒だな、なんならきたない寺だがとまつて行きなさるがよい人を助けるは出家の役とめて進せよう」

「それはどうも大きに有難う存じます、それではお言葉に甘えましてご厄介になることにいたしませう」

金五郎はこの寺が怪しいらくせ者をしやがる、今江戸を荒し廻り役人も手をやいて山形浪人梶原五左工門とは俺のことだとんで火に入る夏の虫サア野郎共やつちまへ」

「合點だ」

大勢が斬り込んで來るを金五郎を曾むねうちをくはしてその場へ打ち倒した

「ウム、しやらくせわまねをしやがる、今五左工門が引導渡して呉れるから覺悟しろ賊の頭五左工門は大刀を引き拔き斬つてかゝる、金五郎二三合打ち合はしたが賊にはたしい腕前である機を見て金五郎はやつと賊の一刀を打ち落す、しまつたと五左工門退き小刀の柄に手をかけんとするところを早くもとび込み橫腹へドンとその場に倒れた小賊共は頭を討たれてはもうかなわねねと表の方へ逃げ出す所をかねて打ち合はせてあつた多福新吉鬼面の政吉が十人づゝの子分を引き連れ裏表より乘り込みこゝぞとばかり原五左工門初め二十五人のそこにことごとく繩を打ち御奉行に差出したサアこれで金五郎の俠名は江戸はたろか全國中にひゞき渡り元祿の男の中の男どうさはれた

（大尾）

文藝原稿募集

△創作、戲曲、詩、和歌、俳句其の他文藝作品を募集す

規定

十二字詰三百行以內

磐城新聞社

大阪政談

◆新版第一編 日活超特作●監督●伊藤大輔 ※主演大河內傳次郎 一八二役◆

例年の通 舊盆まで 夏期謝恩大興行

本邦映畫界最高權威者の結合に依り日本映畫藝術終極の殿堂を確立すと敢て誇り得らるゝ大作品！若人よ!!よしやデューマの名は知らずとも椿姫は知らざるべからず……

椿姫

夏川靜江、高木永二主演 東坊城恭長、三枡豐演

◇日活特作品
故尾上松之助丈遺寶
監督……築山光吉

町人天下

片岡松燕、中村吉十郎 片岡長正、實川延一郎

料金改定
普通席 金十錢
壹等席 金參十錢
特等席 金五十錢

土日曜學生デー

高級常設 平館

電（四六六）

四倉海岸 初音

一、例年の通り四倉海水浴場に出張所設けましたから是非一度御立寄下さい
一、團體の際は大勉強御相談に應じます
一、無料脫衣場の設備もあります

平町新田町 初音

電話 二二六番

◆謝恩接待◆

ウーロン冷茶

營業五週年紀念

丸昇軒食堂

（電四三九番）

平新田町 まつ柳

開店御披露

氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を經營は大塚肉店故原料豐富、是非一度御試食の程を

女給數名入用。

カフエー幸樂

平町六丁目電五（二三九番）

ツルヤ洋品店の

夏の子供服陳列會

イタヅラ着 三十錢より
ボイル服 一圓四十錢より
富士絹服 二圓より

御自由御覽になられる樣店內に陳列致しました。

特に御勉め品霜降通學服大特價提供!!

一號 一圓拾錢
二號 一圓
三號 九拾錢

平町四丁目 ツルヤ

優秀なる最新型腕卷時計

◆クローム側 白金代用側

十型 十石入 七圓五十錢
十型 十五石入上アンクル 拾壹圓
九型 十石入上アンクル 九圓五十錢
九型 十五石入上アンクル 拾三圓
八型 十五石入上アンクル 拾貳圓
八型 十五石極上アンクル 拾五圓

◆十八金側（金質保證）

十型 十石入上アンクル 拾貳圓五十錢
十型 十五石入上アンクル 拾八圓五十錢
九型 十五石入上アンクル 拾五圓
八型 十五石入上ヤンクル 拾七圓

平町五丁目〔釜屋商店前〕

鐵道省御用 金光堂時計店

電話七三六番

吉田眼科醫院

診療時間 夜

胃腸科 內科 十二指腸病 專門 內科部

梅毒 淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部

平南町 松村病院 電話七〇

勞資の醵金で炭礦健保組合か

組合加入者の自覺から

漸次好成績

常磐地方炭礦諸會社の健保組合は一般勞働者が親の病子供らの事ことはざを其まゝ休業給付や徒食としよりする遊惰助長の具とされ其趣旨目的である相扶互助を裏切られ何れも維持困難を唱へてゐたが近來漸く好成績を見せて來た昨二年の平均組合總數は

磐城炭坑　一〇一三六、日立鑛山　二四九、入山採炭三〇二六、太倉鑛業二〇八三、三井湯本一〇八五、大日本高萩一〇〇二、古河好間九七三、大日本勿來八二六、磐城セメント八四八

計二萬三千四百六十八人

此一日平均患者數千八百四十四人三分の百比七人九分は最も患者の多い三月から八月に至る六ヶ月に於て九人三分後の半年が六人八分ヶ月に上り殊に患者過多に苦しめられた昨年は平均九人六分

に達し休暇の直後なる二十三日より平町湯殿山に合宿屯じ高月岡の校舎に通つて熱心なる練習を續けてゐるが柔道部の選手は大体左の如く決定した

佐藤八郎（初段）吉田愛司　平町書記　機備役陸軍歩兵中尉　花澤氏　從七位に

五月一日付

豐間村で

電話架設　陳情

近く有志が出仙

石城郡豐間村では近來漁業發達その他著しい町勢の伸展を示し特設電話架設必要に迫られてゐたが最近いよ〳〵約五十名の架設希望者が出來たのでその筋へこれが架設方を稟請する處となり同地郵便局長その他有志は近く仙臺遞信局に出頭その促進實現につき詳細陳情する筈である

築港既成同盟主催

四倉町々民大會

昨夜四倉座に於いて　直ちに實行運動に着手

四倉町漁港築港既成同盟會主催、四倉町々民大會は既報の如く昨廿五日午後七時から四倉座に於いて開會し會長新妻盛氏の開辭に次いで四倉町長杉原新伍氏を座長に推し次の如き決議を爲した

決　議

漁港の成否は我四倉町の盛衰に關す此の際我等は協心一致最前の努力を以つて築港の完成を期す

七月廿五日

斯くて特に臨席せる本郡選出の木村代議士、山崎縣議等の激勵演說ありて午後八時半散會したが參會者に五百餘名に達し近來稀なる盛會であつた尙既同盟成發會式を擧行し盛會を極めたが役員選擧の結果左の諸氏當選し各部落に幹事を置く事になつた新妻

會長伊東芳松、副會長成田政助、椚村つき

女子青年團發會式

川部村で

處女會は解散

石城郡川部村では今回處女會を解散し新に女子青年團を創立する事となり去る二十三日午後二時同小學校に於て發會式を擧行し盛會を極めたが役員選擧の結果左の諸氏當選し各部落に幹事を置く事になつた

會長伊東芳松、副會長成田政助、椚村つき

幼女姉妹の轢死は乘務員の過失

機關手は過失致死で一件書類送局

常磐線踏切に於ける同村佐藤善彰長女ヒデ（五）次女リキの姉妹が轢死した個所は直線にあり機關車乘務員が相當注意を爲せば此の慘事を未然に妨止するが出來得べき筈なるに拘はらず機關手は過失を怠り漫然職務たる非常警笛を吹鳴さなかつた等の理由から今回船田機關手の不注意に依る事故であつた事判明廿五日一件書類を檢事局に送致された

柔劍道は平で開催

縣下大會を前に

磐中選手の猛習

本年度縣下中等學校體育大會は來る九月初旬磐城の各地において行はれることに決定運動ルール各般一旦主催者側の選手銓衡に關する規則は過日各中等校宛に配布せられ各校は所謂選手權による選拔方法による結果相當チームの作成に影響あるものの如く而して本年度の柔劍道の開催地たる磐中では昨年に引續き無敵の名を今これが諸般の準備中であるが特に柔道、劍道は開催地元の學校であるだけその結果は地方スポーツ界に及ぼすこと大なるため各選手

昨日夕方の出火に消防伍長負傷す

出火原因は油鍋に火が入り　損害約千圓位

昨廿五日午後六時頃突如平町字紺屋町西洋料理店磐城食堂森川泰一郎方の料理室より發火平町消防組が出動して之が消火に努めた結果同二十分住家を半燒して鎭火したが出火と同時に出動消防手を指揮し鎭火に努めた平消防伍長金成仙治（三）君は鍋に火が入り途に出火したのであるが判明したが損害約千圓位であると尙同所附近は人家密集し殊に隣家は材木店であつた爲め一時は非常の大騷であつた

『艶ツポイ悲劇』

藝妓に見送られた兵曹　列車から落ちて負傷

見送れて電柱に打ち當る

廿五日午前五時十八分頃平發上野行旅客列車の乘客横須賀海軍航空隊兵曹佐々木五郎（二三）は酩酊し平驛を過ぎ同驛近くの城坂踏切下り差蒐つたとき二名の馴染の藝者が見送りしてゐたのに見れ乘降口まで帽子を片手に振りながら半身を客車より出して別れを惜んでゐたが急カーブのため線路側先端の塗衡により左の如く決定した

仙臺遠征の

磐中陣容

主將以下全部決定す

既報來る廿九日全國中學校野球大會東北豫選大會の爲め仙臺に遠征する磐中野球部の選手は過日部長その他の

今後鰹の漁場は他方海區に移動

魚群を追ふて四日間　磐城丸探漁報告

磐城丸は第十四回鰹漁場調査を認めず只僅に小名濱東微南百四十浬内外の十八度から二十二度の混亦水帶が漁場らしく茨城縣及金華山附近一帶に同距岸附近海區にいて相當の漁獲あつた尙江名船にて今回十八度の冷水三分帶において釣獲したものが曇り時々晴れ

思想要視察人平署管下で千名

名簿を作製して　嚴重に取締る

一昨年以後當地方の思想方面は急激な變轉を見てゐる擧行される御大典の盛儀に際し常磐炭界に相當根強い勢控えて此等極左派は勿論左翼組織準備會山代吉宗を中心とする極左派の一派が此れに變つて舊勢力を有してゐた日本勞働農民黨の坑夫組合支部が幾度か主任を始め高等係一同が春の磐城、入山兩炭礦の爭管內に於ける思想方面の更に慘敗を最後として全く其視察人は約七百名を數へての勢力を失墜するに至つた居るので過般來要視察人の名簿を作製中で近く發現を見る筈の平署特高新設と共に思想方面の取締は一層緊張味を帶びるものと豫想され今や全郡下に亘つて相當の勢力を有するに至つたので

愈々好成績な産米の共同販賣

米價低落の對策として　郡農會が奬勵

石城郡方部の産米は郡農會其の他の指導により漸次改良され磐城米として他地方にも移出されてゐるが、販賣方法に改善の必要がある爭を不況の結果米價が低落したので氣づき出し昨年頃から各方部で共同販賣を開始し出した、最近では大浦磐城、勿來、高久、錦各町村に於て數區に亘り共同販賣を行つたがその成績を見ると共同販賣による賣上げ高は二十六車三千八百四十俵に達し個人にて販賣したのと比較らべてみると一俵について九十六錢一厘の高値で取引され總額に於て三千六百五十六圓六十四錢の利益を納めてゐるので此事によつて共同販賣の有益な事が判明したので米價低落の對策として共同販賣を

科料一束

△平町田町宮川三郎方宮川誠（二〇）は自轉車に二人で塔乘して金二圓△平町字材木町自動車運轉手澤正路（二二）は自動車に定員外乘車せしめて三圓△當時住所不定無職前科三犯栗林藤太郎（三七）は生業なく諸所を徘徊拘留九日△内郷村大字綴磐藤惣七は鐵道線路内に立入り金二圓△朝鮮京城安國道金鎭泰平木村正一（三八）は一定の生業なく諸所を徘徊拘留七日△平町白銀町伊藤タキ（三六）は宿屋營業取締り違反二圓△平町南町坂本菊義は警察の訴可なく食肉を販賣して二圓△神谷村大字平神谷清水鶴次郎（四二）は夜間燈火を用ひず自轉車に塔乘金二圓△同村上片寄農片寄久衛（五〇）は御具なく駄馬に口取りして乘用金二圓△平町新町自働車運轉手小林虎吉（二七）は泥濘ある路上に泥除なく通行人に迷惑をかけて金三圓△平町鎌田町錺職三澤寅之助（四〇）は二人で自轉車に塔乘して金二圓△平町四丁目佐川傳之助（三二）は無燈火の自轉車に夜間塔乘して金二圓△飯野村伊藤唯一（二八）は馭者臺なき荷馬車に口取りなくして乘用金二圓△平町七軒町羽田金之助（三三）は開じく三圓　以上

社告

營業部員　一名

廿歳以上卅五歳以下の活動家を至急募集す

本人履歴書持參午前中來談あれ

磐城新聞社

近火御見舞御禮

紺屋町　白井

近火御見舞御禮

七月二十六日

材木町　草野順平

近火御見舞御禮

藤沼醫院

平町紺屋町

冷涼の夜を流るる盆踊りの好調

野趣に滿ちた歌詞と解放そのものゝ跳躍

トロン、トコトン、トコトン〳〵、靜に更けて行く夏の夕闇を透して冴わたる大鼓の音が哀音を及ぴた笛や鐘の音に混つて聞えてくる

◇

平町近在の昨今はた盆の踊り練習に急がしい、鎭守森や廣場に陣取つた一群れが笛や大鼓の音に連れて夕凉の頃ろから十時頃ろまで踊り續けるのだ

◇

夏の夕闇を透して冴わたる大鼓の音が哀音を及ぴた笛や鐘の音に混つて聞えてくる

◇

平町近在の昨今はた盆の踊り練習に急がしい、鎭守森や廣場に陣取つた一群れが笛や大鼓の音に連れて夕凉の頃ろから十時頃ろまで踊り續けるのだ

◇

原始的なりズムに連れて踊り狂ふ赤い浴衣の若衆揃の浴衣を着けた娘さん、貌かむりをした爺さん婆さん、殺風景な農村も此れからお盆までの一ケ月間は幾多のローマンスを生みながら雨が降つても、風が吹いても踊りの練習が續くのだ

◇

「問題じやないよ」とあつさり片付ける、本當だ鄕土藝術だの

◇

むしろ年々すたれて行く民謠の前途を何んとかして發展せしめたいと考へてゐる位いだ……假裝も風紀を亂す譯……櫓太鼓の音とに連れて更けて行く晩夏の夜夜明けまでも踊り續ける……盆踊りの練習が續くのだ

◇

とのごとだから一般でも充分注意しなければならない事……そんなモダンな問題を起越した歡樂位いに原始的ひを立てると粋人で通つてゐる平署の猪狩署長さん

「問題じやないよ」とあつさり片付ける、本當だ鄕土藝術だの

◇

むしろ年々すたれて行く民謠の前途を何んとかして發展せしめたいと考へてゐる位いだ……假裝も風紀を亂す譯……櫓太鼓の音とに連れて更けて行く晩夏の夜夜明けまでも踊り續ける……盆踊りの練習が續くのだ

◇

此等今から練習をしてゐる近在の人々が押かけての平町は幾程不最氣風こうとも資本家がどうだ勞働者がどうだ……そんなモダンな問題を起越した歡樂境が現出する本當に待遠しい（信坊）

◇

鄕土藝術、そんな言葉で言ひ表すのは勿体ない様な感んじがする程左様に原始的な磐城名物のデヤンガラ念佛踊り……本當に此れから近在の歡樂境だ

◇

此等今から練習をしてゐる近在の人々が押かけての平町は幾程不最氣風こうとも資本家がどうだ勞働者がどうだ……そんなモダンな問題を起越した歡樂境が現出する本當に待遠しいものゝ一つある……其れはやかまし盆踊りはどうです」とた伺だがお盆の盆踊りと暗其れまでに盆の歡樂に浸る事が出來るのだ

◇

盆踊りはどうです」とた伺だがお盆の盆踊りと暗其れには多くの罪惡が生れる、此れは官私服の警官が總出動で取締る。例を上げればさり片付ける、本當だ鄕土澤山あるが人出を幸ひのスリや胡瓜泥、喧嘩等々軟派の不良少青年の魔手……若い娘さん御注意なさい……

◇

附近は人家密集し殊に隣家は非常の大騷であつた

少女溺死

小學二年の

昨日植田町　滝川で水泳中

植田町字壹町根本覺太郎二女植田小學校尋常科二年生根本ツネ（九）は昨廿五日午後四時頃學校から歸つて附近の友達三四名と共に同町海里の海區で濃厚な鮫付魚籃つたが何れも漁獲せるものがなかつた而して二十二日は雨甚だしく午後二十日は雨甚だしく午後

明日の天候

小名濱測候所發表

本日正午の溫度は七十六度

名船にて今回十八度の冷水三分帶において釣獲したものが曇り時々晴れ

今日の溫度と

「神様」の小笹所長

六本の題名は左の如く決定した

△空行かば」△「彌次喜多殺陣の卷」△「一騎當千」△「非常線」△「アスター機主演探偵活劇映画王」△「非常線」△「アビーの白薔薇」△「眼十日から封切

「闇より光へ」封切

フォックス映畫アーヴィング・カミングス監督エドマンド・ローメリー「アスター機主演探偵活劇映画王」△「非常線」△「アビーの白薔薇」△「眼十日から封切「闇より光へ」は二十九

紀の國屋が映畫を撮る噂

夏休みを利用して

帝劇の大幹部澤村宗十郎ある、三人一ケ月の御暇を得て紀州の實家高野、熊野の兄弟、此の夏休みを利用して映畫を撮るのか……との噂が專らである

常設館に火災の多い米國

毎年五百萬弗燒失

アメリカ國立火災保護協會の調査によるとアメリカが殆んど他國其他に依らず年毎の火災損害は一九二二年から二六年迄の五ケ年間に千八百萬弗といふ驚くべき數字を示して居るので同協會では是れが防止するため種々研究を爲して居る、そして是中であるといふ。

八組大物六本

日本題名決定

パラマウント社が七月から

「八月隊時代」

ら次へかけて封切る大物六本の題名は左の如く決定した。

封切

「闇より光へ」

日活映畫「首都の女」